

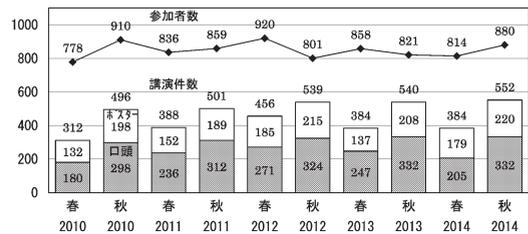
2014年度秋季大会の報告

2014年度秋季大会は、福岡国際会議場（福岡市博多区石城町）を会場として2014年10月21日（火）～23日（木）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は880名であった（第1図）。

2日目午後には、福岡国際会議場国際会議室において堀内賞が町田敏暢氏と羽角博康氏に、正野賞が塩竈秀夫氏と松井仁志氏に、山本賞が釜江陽一氏と木下武也氏に、奨励賞が永井秀行氏と小山芳太氏にそれぞれ授与された。授賞式に続いて堀内賞、正野賞及び山本賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「惑星大気研究の最前線」が開催され、4件の基調講演と総合討論が行われた。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する11件のスペシャル・セッションが行われた。講演件数は、一般講演が392件（内訳はポスターが220件、口頭発表が172件）、スペシャル・セッションが160件、合計552件で、これは過去最多の講演件数であった。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる5



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。

件の研究会が開かれた。

今大会の開催に当り、9の企業・団体からご出展・ご協賛を頂きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、今大会実行委員として大会準備・運営にご尽力頂いた福岡管区气象台、九州大学、福岡大学をはじめとする九州支部の皆様へ深く感謝の意を表します。

2014年11月 講演企画委員会